

(様式 1-3)

福島県（本宮市）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 29 年 10 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	2	事業名	ホールボディカウンターによる内部被ばく検査事業	事業番号	(3)-23-2
交付団体	本宮市	事業実施主体 (直接/間接)	本宮市 (直接)		
総交付対象事業費	(55,428 千円) 70,548 (千円)	全体事業費	(55,428 千円) 70,548 (千円)		
帰還環境整備に関する目標					
原発事故の長期化に伴い、市民の放射線量への関心は高く、特に妊婦や子どもを持つ世帯の内部被ばくへの不安はいまだに残っており、不安解消は最も重要な課題となっている。 この様な状況を踏まえ、ホールボディカウンターを設置し、個人の受けている放射線量を測定することで、不安の解消や自身の健康管理につなげていく。					
事業概要					
測定を希望し、測定可能な 4 歳以上の市民を対象に、ホールボディカウンターにより、体内に放射性物質が取り込まれていないかどうかを確認する。また、成人では 50 年間、子どもでは 70 歳までに体内から受けるとされる内部被ばく線量（預託実効線量）を推定する。					
(1) 測定開始時期 平成 29 年 4 月から開始 時間：午前 9 時～午後 5 時					
(2) 測定場所 本宮市民元いきいき応援プラザ（えぼか）健康増進広場内					
(3) 検査の概要 ①：サーベイメータによる体表面検査 ②：チェア式ホールボディカウンター（WBC）による検査の 2 項目					
(4) 検査の流れ 受付 → 検査内容の説明 → 体表面検査 → WBC 検査 → 結果の説明 WBC 検査の際は、正確な測定を行うため、下着以外（衣類、靴下等）は脱いでいただき、新しい T シャツ・検査衣等を着用して測定をする。					
「本宮市第 1 次総合計画」 ・共に支えあうやさしいまちづくり 心と体の健康づくりの推進 放射線リスクの軽減					
本宮市復興・創生計画【第 1 版】 施策 1-2 健康対策 健康不安の軽減と長期的な健康管理対策 ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<平成 29 年度> 測定を希望し、測定可能な 4 歳以上の市民を対象に、ホールボディカウンターにより、内部被ばく検査を実施する。 本市唯一のホールボディカウンターが故障したことにより、市内小中学校を対象としている内部被ばく検査で、2 校が未実施、3 校が一部未実施、一般市民についても 4 割が未実施となっており、市民の安全安心確保に支障をきたしていることから、早急に修繕を行う必要があるため、新たに修繕料を追加する ●平成 29 年度運営費 42,249 千円					
<平成 30 年度> 継続しての実施を予定している。					

地域の帰還環境整備との関係
個々人線量の把握、被ばく低減対策の措置を講じることで、市民の放射線の健康への影響についての不安解消を図り、地域の再生加速化を図る。
関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	